JSF JAPAN SECURITIES FINANCE CO., LTD.

日本証券金融株式会社

2020年3月期　第2四半期
決算説明会資料

2019年11月14日（木）

（スピーカー）執行役専務　前田　和宏

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

～ All For Securities Market ～

目 次

■ １．2020年3月期 第2四半期 決算サマリー（連結･個別） Ｐ３

■ ２．2020年3月期 第2四半期 日本証券金融（単体）決算サマリー Ｐ４

■ ３．決算のポイント ①上半期の貸借取引残高の状況 Ｐ５

■ ４．決算のポイント ②貸借取引業務の業況 Ｐ６

■ ５．決算のポイント ③有価証券運用の状況（日証金単体） Ｐ７

■ ６．2020年3月期 第2四半期 日証金信託銀行 決算サマリー Ｐ８

■ ７．2020年3月期 第2四半期 連結貸借対照表（サマリー） Ｐ９

■ ８．2020年3月期 業績試算値 Ｐ１０

■ ９．株主還元について Ｐ１１

■ 10．2020年3月期の配当･自己株式取得 Ｐ１２

■ 11．PTS向け貸借取引の取扱い開始について Ｐ１３

■ 12．金融商品取引業者等向け新規業務の体制整備について Ｐ１４

■ 参考資料 Ｐ１５

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

1．2020年3月期　第2四半期決算サマリー（連結･個別）

JSF

（単位：百万円）	日証金グループ連結			グループ各社個別					
				日本証券金融		日証金信託銀行		日本ビルディング	
	20年3月期 2Q累計	前年同期比	(増減率)		前年同期比		前年同期比		前年同期比
営業収益	**14,393**	2,341	(+19.4%)	12,223	1,975	1,768	373	641	3
除く品貸料	*10,221*	*793*	*(+8.4%)*	*8,050*	*427*				
営業費用	7,923	2,174	(+37.8%)	7,073	1,865	893	325	11	1
除く品借料	*3,750*	*626*	*(+20.0%)*	*2,900*	*316*				
一般管理費	**4,102**	25	(+0.6%)	3,455	▲61	512	94	336	▲5
営業利益	**2,368**	141	(+6.4%)	1,694	172	362	▲46	294	7
経常利益	**2,758**	63	(+2.4%)	2,069	▲8	363	▲46	367	18
持分法投資損益	*148*	*147*	*(−)*						
特別損益	—	41	(−)	—	41	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	**2,070**	124	(+6.4%)	1,566	65	303	▲52	245	12

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

2．2020年3月期　第2四半期　日証金（単体）決算サマリー

JSF

日本証券金融（単体）

*「品貸料」および「品借料」を除いたベース

（単位：百万円）	20年3月期 2Q累計	前年同期比	（増減率）
営 業 収 益*	**8,050**	427	（+5.6%）
貸借取引業務*	**2,107**	23	（+1.1%）
一般貸付業務（注1）	**575**	▲83	（△12.6%）
有価証券貸付業務（注2）	**3,177**	▲104	（△3.2%）
その他	**2,189**	591	（+37.0%）
営業費用*	**2,900**	316	（+12.3%）
一般管理費	**3,455**	▲61	（△1.8%）
営 業 利 益	**1,694**	172	（+11.3%）
経 常 利 益	**2,069**	▲8	（△0.4%）
特別損益	—	41	（−）
当期純利益	**1,566**	65	（+4.4%）

注1　貸借取引業務以外の資金の貸付、　注2　貸借取引業務以外の有価証券の貸付

主なポイント

●営業収益

◆貸借取引業務は前期並み、債券営業部門および有価証券運用が好調

- 8,050百万円と前年同期比で427百万円（+5.6%）の増収
- 貸借取引業務は、融資残高の減少による影響を貸株残高の増加がカバーして前期並み
- 一般貸付業務は、貸付残高の減少により減収
- 有価証券貸付業務は、低調な一般貸株部門を好調な債券営業部門が下支え
- その他（主に有価証券運用収益）は保有投資信託の分配金収入の増加などにより増収

※貸借取引業務については、5～6ページ「決算のポイント①～②」、その他（有価証券運用）については、7ページ「決算のポイント③」をご参照

●営業費用

- 2,900百万円と前年同期比で316百万円（+12.3%）の増加。
- 債券営業部門における現先取引による国債調達費用の増加が主な要因

●営業利益

- 保有区分の見直しに伴い、一部株式の受取配当金を営業収益に計上した影響により増益

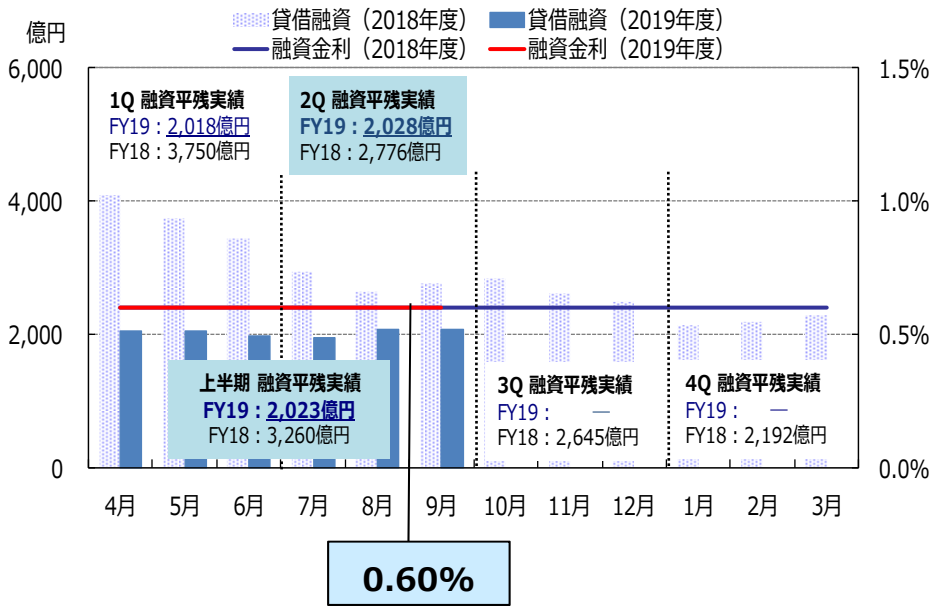
Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

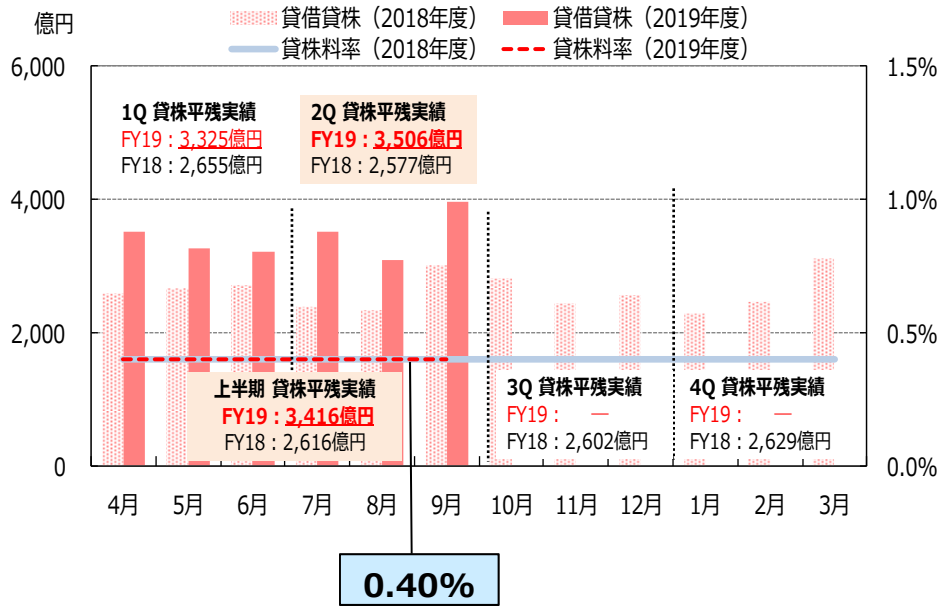
3．決算のポイント　①上半期の貸借取引残高の状況

JSF

- 株式市況の不透明感が強いなか、融資残高は2,000億円レベルで横這い
- 貸株残高は株価の戻り局面を中心とした新規売りで堅調に推移

（単位：億円、%）	2018年度						2019年度			前年比	
	1Q	2Q	上半期	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	上半期	2Q	上半期
融資平均残高	3,750	**2,776**	3,260	2,645	2,192	2,842	2,018	**2,028**	2,023	▲747	▲1,237
融資金利	0.60	**0.60**	-	0.60	0.60	-	0.60	**0.60**	-	-	-
貸株平均残高	2,655	**2,577**	2,616	2,602	2,629	2,616	3,325	**3,506**	3,416	928	799





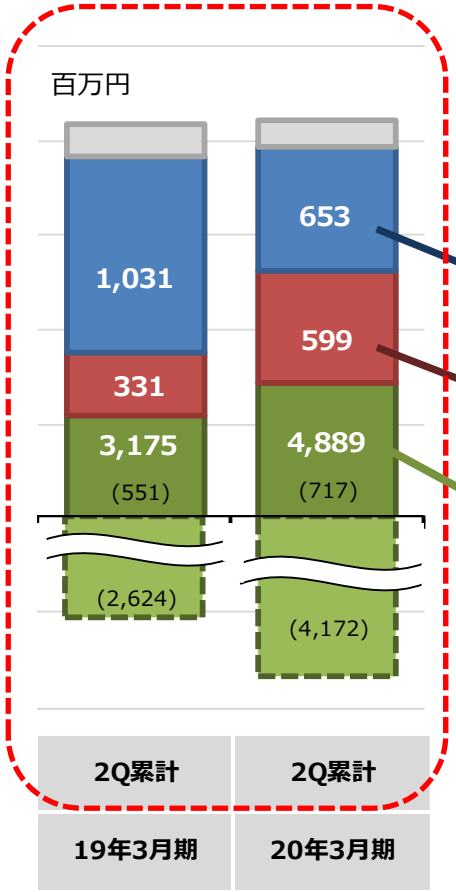
Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

4．決算のポイント　②貸借取引業務の業況

JSF

■　融資残高減少による減収分を貸株残高増加による増収分がカバー

【営業収益の前年同期比較】



(単位：百万円)	2Q累計 営業収益 (前年同期比)	2Q累計 ポイント
貸借取引業務全体	6,280 (+33.4%)	
(除く品貸料)	2,107 (+1.1%)	✓ 当業務の営業収益は、品貸料を除いたベースでも小幅な増収を確保
貸付金利息	653 (△36.6%)	✓ 低調な融資残高の影響により、貸付金利息は大きく減少
借入有価証券代り金利息	599 (+80.7%)	
有価証券貸付料	4,889 (+54.0%)	✓ 貸株残高が堅調に推移したほか、貸株超過銘柄にかかる品貸料が増加した結果、有価証券貸付料が大幅な増加
うち貸株料	717 (+30.1%)	
うち品貸料	4,172 (+59.0%)	

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

5．決算のポイント　③有価証券運用の状況（日証金単体）

JSF

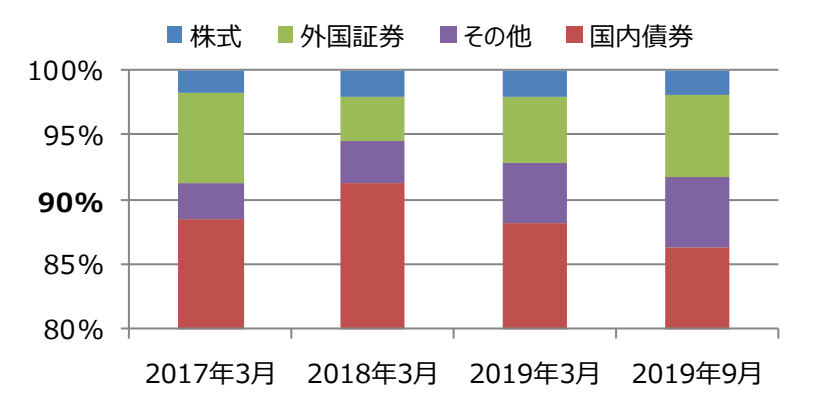
■　保有投資信託の分配金収入の増加などが寄与して前年同期比増収

有価証券の運用収益（日証金単体）

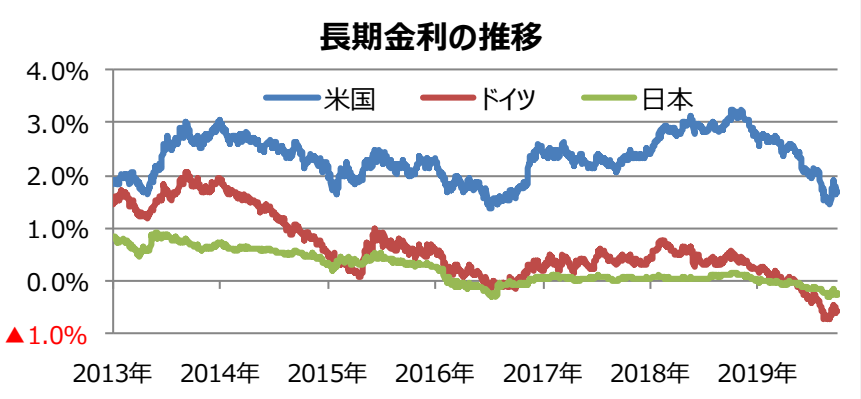
	20年3月期 2Q累計	前年同期比
円建て	1,718百万円	＋299百万円
国内債券	755百万円	▲185百万円
株式、その他※	963百万円	＋485百万円
外貨建て	457百万円	＋288百万円
合計	2,176百万円	＋588百万円

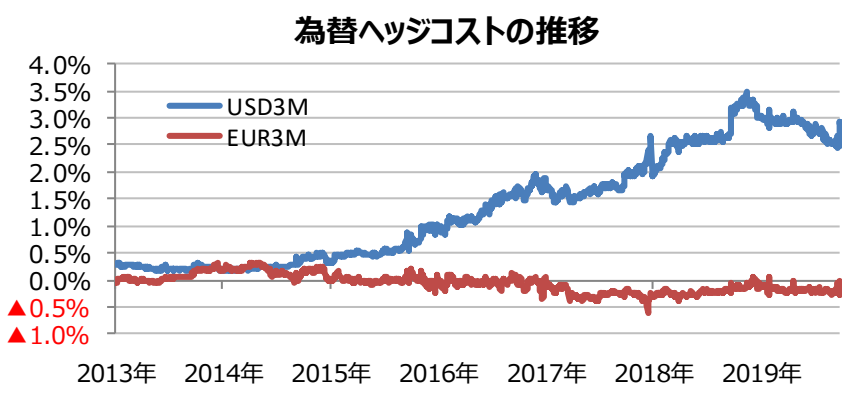
※　投資信託など

有価証券ポートフォリオの推移（日証金単体）



（参考）マーケットの状況（各国長期金利の推移、為替ヘッジコストの推移）　出所）Bloombergのデータを基に日本証券金融が作成





Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

6．2020年3月期　第2四半期 日証金信託銀行　決算サマリー

JSF

ポイント

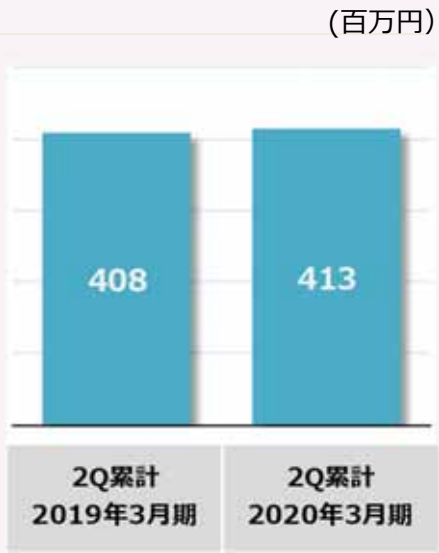
- 管理型信託サービスの強化により、信託報酬は増加基調が継続
- 貸付金利の低下により貸出金利息が減少した一方、保有国債等の残高増加により有価証券利息は増加
- 国債等債券売却益が増加した一方、金利スワップ解約費用も増加
- 貸倒引当金繰入の影響により経常利益および当期純利益はいずれも前年を下回る結果

日証金信託銀行（単体ベース）

（単位：百万円）	20年3月期 2Q累計	前年同期比	増減率
経常収益	**1,769**	316	(+21.8%)
うち信託報酬	**413**	5	(+1.2%)
うち国債等債券売却益	**646**	349	(+117.6%)
うち貸倒引当金戻入益	**－**	▲56	(△100.0%)
経常費用	**1,406**	363	(+34.8%)
うち金融派生商品費用	**558**	353	(+172.0%)
うち貸倒引当金繰入額	**20**	20	(―)
経 常 利 益	**363**	▲46	(△11.4%)
当期純利益	**303**	▲52	(△14.6%)

【信託報酬のポイント】

管理型信託サービス（顧客分別金信託、アセット・バック・ローン信託など）の強化が寄与して増収



Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

7．2020年3月期　第2四半期　連結貸借対照表（サマリー）

JSF

単位：百万円

	19年9月末	19年3月末比	内　容
資産合計	**7,252,271**	**1,960,899**	
現金及び預金	1,063,906	73,236	日本銀行当座預金
有価証券	224,282	▲ 14,361	残存1年以下の国債等
営業貸付金	772,680	103,785	貸借取引貸付金／一般信用ﾌｧｲﾅﾝｽ／公社債・一般貸付金／信託銀行貸付金
買現先勘定	1,658,914	1,112,371	
借入有価証券代り金	2,589,631	452,041	債券貸借取引（レポ）の差入担保金 貸借取引借株の差入担保金
投資有価証券	664,363	159,200	残存1年超の国債等 政策保有株式等
負債合計	**7,112,425**	**1,961,845**	
コールマネー	1,231,352	214,892	
短期借入金	40,344	23,797	銀行借入金 日本銀行オペレーション
CP	129,000	▲ 85,000	
売現先勘定	2,309,168	855,815	
貸付有価証券代り金	2,359,889	796,459	債券貸借取引（レポ）の受入担保金 貸借取引貸株の受入担保金
信託勘定借	892,215	148,885	
純資産合計	**139,846**	**▲ 946**	

資産の特徴

(1) 貸付金の変動

貸借取引をはじめとした貸付金は短期（オーバーナイト～1か月程度）のものが大半。また、株式市場の動向等により残高が変動。

(2) 機動的な資金調達のための国債保有

短期金融市場で機動的に資金調達するため、一定程度の国債を保有。

(3) 現金および預金

当社の資金繰りや日証金信託銀行の信託勘定における待機資金（信託勘定借）等の状況により増減。

負債の特徴

(1) 多様な資金調達手段の確保

短期金融市場の状況や取引先の資金需要に機動的に対応すべく、借入金、CP、コールマネー、債券レポなど多様な資金調達手段を確保。

(2) 信託勘定借

日証金信託銀行の信託勘定における待機資金。

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

8．2020年3月期 業績試算値

JSF

試算値の前提条件とした貸借取引残高

2020年3月期 通期残高

（参考）
2019年3月期　平均残高

（単位：百万円）			2020年3月期 試算値	前期比	前回 試算値比
日証金グループ連結					
	営業利益		3,900	▲81	+300
	経常利益		4,700	▲346	+300
	親会社株主に帰属する当期純利益		3,500	▲265	+300
グループ各社					
	日本証券金融	営業利益	2,700	▲112	+200
		経常利益	3,200	▲454	+200
		当期純利益	2,300	▲377	+200
	日証金信託銀行	経常利益	650	36	+100
		当期純利益	550	11	+85
	日本ビルディング	営業利益	565	▲0	–
		経常利益	685	11	–
		当期純利益	450	4	–

金利等前提条件

●融資金利 ：0.60%、●貸株等代り金金利 ：0%、●貸株料 ：0.40%

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

9．株主還元について

JSF

1 基本的な考え方

- 証券市場のインフラの担い手として求められる経営の安定性および財務の健全性を確保するため、強固な自己資本を維持しながら企業価値の増大を図るとともに、収益環境や投資計画などを総合的に勘案し、**株主への利益還元を充実したもの**としていく

（中期経営計画・経営方針）

- こうした基本的な考え方の下で、**株主への利益還元により軸足をおいた運営**に努める

2 株主還元方針（2015年5月11日公表）

（1）配当政策

- 業績を反映させる基準として**連結配当性向60%程度**を下回らないものとし、連結株主資本配当率(DOE)も勘案しながら利益還元する

⇒ 一時的な業績変動の影響を受けない安定的な配当の実施に努める

（2）自己株式取得

- 株主還元の更なる充実を図っていく観点から、当社の収支状況や株価水準などを勘案しながら、**今後も適宜自己株式を取得**していく

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

10. 2020年3月期の配当・自己株式取得

JSF

		2019年3月期（実績）	2020年3月期（予想・設定枠）
【配当】	年間配当	22円（前期比▲4円）	22円（前期比±0円）
	中間配当	11円（前期比+2円）	11円（前期比±0円）
	期末配当	11円（前期比▲6円）	11円（前期比±0円）
	連結配当性向	55.0%	58.2%
【自己株式取得】	取得株数	200万株※	100万株（上限）
	発行済み株式数に対する割合	2.0%	1.1%
	取得金額	12億円※	7億円（上限）
	取得期間	① 2018年 6月6日 ～ 2018年11月 6日 ② 2018年12月18日 ～ 2019年 3月14日	2019年5月16日～2020年3月23日
総還元性向		87.8%	78.2%

※ 取得実績ベース（期間累計）

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

11. PTS向け貸借取引の取扱い開始について

JSF

◆ PTS運営会社

- SBIジャパンネクスト証券㈱ （JNX）
- チャイエックス・ジャパン㈱ （CXJ）※

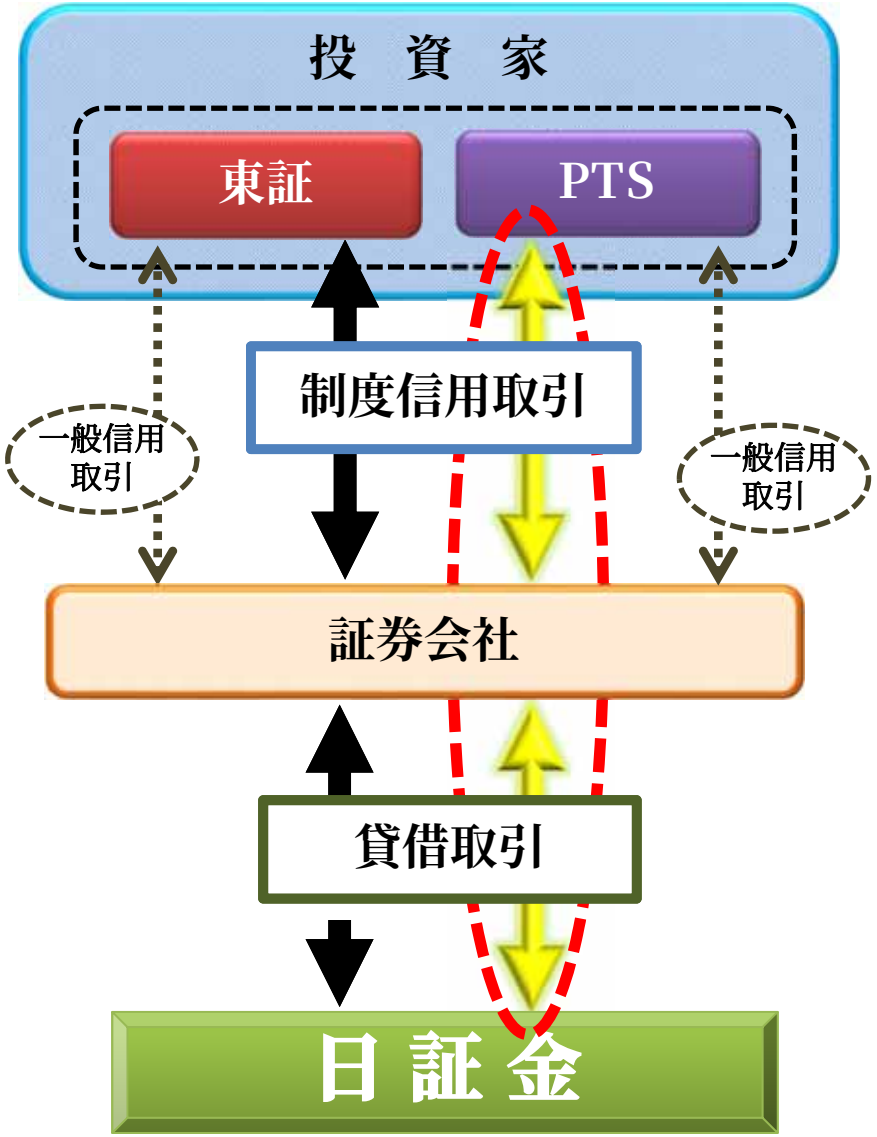
※ 2019年12月スタート予定

◆ 取引先（証券会社）

- 現在1社
- 今後、拡大の見込み

～ 各市場向け貸借取引の取扱実績 ～

年	概 要
1951年	東証向け貸借取引を開始（信用取引制度創設）
1955年	三市場（札幌・福岡・新潟※）向け貸借取引を開始 *※2000年3月終了（新潟証券取引所廃止）*
2004年	JASDAQ向け貸借取引を開始 *→ 2010年10月終了（大証とJASDAQの経営統合）*
2013年	東証・大証の市場統合（旧大証金と合併）
2017年	名証向け貸借取引を開始
2019年	PTS向け貸借取引を開始



Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

12. 金融商品取引業者等向け新規業務の体制整備について

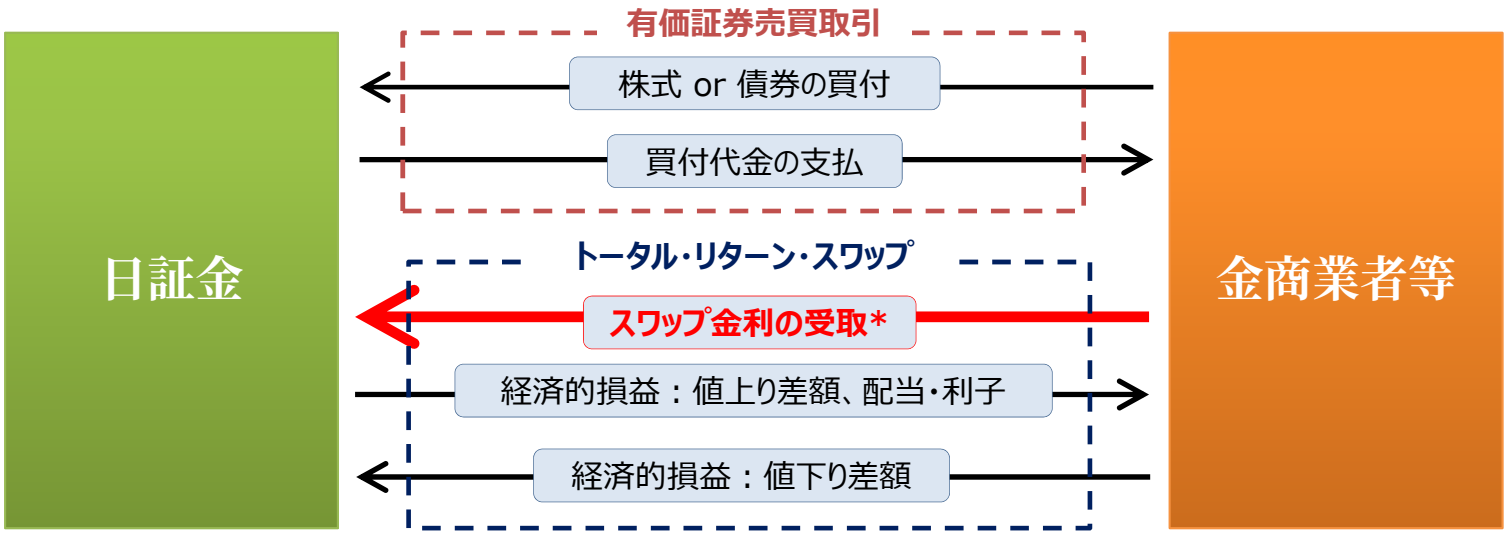
JSF

- 国内外の金融商品取引業者等と、新たに有価証券の買付け又は売付けと、トータル・リターン・スワップ（当該有価証券の経済的損益を移転するデリバティブ取引）の組み合わせ取引を実施するための体制を整備。

（参考）本取引のスキーム例：有価証券の買付とトータル・リターン・スワップ

Point

下記例の場合、当社は買付けにより有価証券のポジションを保有するが、同時に実施するデリバティブ取引により、当該有価証券の価格変動リスクは負わない。



*当社の収益の源泉

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

参考資料

- 配当・自己株式取得の推移
- 自己株式の取得
- 連結業績の推移
- 業務別営業収益の推移
- 業務別営業収益の状況（四半期推移、2Q累計）
- 業務別営業収益の対前年比増減分析（四半期、2Q累計）
- 貸付金の状況
- 制度信用取引残高・貸借取引残高
- 信用取引・貸借取引の仕組み
- 貸借取引の収益構造
- 貸借取引金利について
- 貸借取引金利の推移
- 有価証券の状況
- 日証金信託銀行（貸出金）
- 第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）①
- 第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）②
- 第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）③
- 日証金信託銀行の経営方針
- 連結会社の状況
- 外部格付けの状況

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 配当･自己株式取得の推移

JSF

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	**2019年度** **(予想･設定枠)**
一株当り配当金(年間)	14円	15円	16円	18円	26円	22円	**22円** (中間11円 期末11円)
自己株式取得(株数)	－	746万株	300万株	63万株	150万株	200万株	**100万株**
(金額)	－	46億円	19億円	3億円	9億円	12億円	**7億円**
当期純利益 【連結】	62億円	35億円	26億円	30億円	42億円	37億円	**35億円**
一株当たり利益【連結】	60.4円	33.9円	26.9円	31.9円	44.2円	40.0円	**37.8円**
配当性向 【連結】	23.2%	44.2%	59.5%	56.4%	58.8%	55.0%	**58.2%**
DOE 【連結】	1.1%	1.1%	1.1%	1.2%	1.8%	1.4%	**1.4%**
(参考) 総還元性向	23.2%	173.9%	133.1%	66.3%	79.3%	87.8%	**78.2%**

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 自己株式の取得

JSF

◆自己株式の取得枠の決議	概　要
公表日	2019年５月15日
取得する株式の総数	100万株（上限）
発行済み株式数に対する割合*	1.1%
取得価額の総額	７億円（上限）
取得期間	2019年５月16日～2020年3月23日

*自己株式を除いたベース

【買付け実績】

	開始	終了	株数		金額		消却	発行済株式数
			株	(消化率)	百万円	(消化率)	株	株
2014年度実績	2014/5/13	2015/3/5	7,464,400	-	4,652	-	7,307,063	100,000,000
2015年度実績	2015/5/12	2016/3/18	3,000,000	-	1,937	-	0	100,000,000
2016年度実績	2016/5/13	2017/3/22	635,800	-	297	-	0	100,000,000
2017年度実績	2017/5/12	2018/2/26	1,500,000	-	890	-	0	100,000,000
2018年度実績	2018/6/6	2019/3/14	2,000,000	-	1,267	-	0	100,000,000
2019年度設定枠	**2019/5/16**	**2020/3/23**	**1,000,000**	**-**	**700**	**-**	**-**	**-**
上記取得枠にかかる実績	**2019/5月～6月**		**0**	**(0.0%)**	**0**	**(0.0%)**	**0**	**100,000,000**
	2019/7月～9月		**200,000**	**(20.0%)**	**97**	**(13.9%)**	**0**	**100,000,000**
	2019/10月		**0**	**(0.0%)**	**0**	**(0.0%)**	**0**	**100,000,000**
累計			**200,000**	**(20.0%)**	**97**	**(13.9%)**	**0**	**100,000,000**

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 連結業績の推移

JSF

単位:百万円

	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期 2Q	19年3月期	20年3月期 2Q
営業収益	**20,300**	**22,035**	**23,066**	**26,333**	**12,052**	**24,321**	**14,393**
除く品貸料	15,856	16,160	16,522	18,383	9,428	18,603	10,221
営業費用	9,450	11,537	11,892	13,330	5,748	12,284	7,923
除く品借料	5,008	5,672	5,358	5,385	3,124	6,566	3,750
一般管理費	7,824	7,939	8,371	9,121	4,077	8,056	4,102
営業利益	**3,025**	**2,558**	**2,802**	**3,881**	**2,226**	**3,981**	**2,368**
持分法による投資損益	▲144	54	92	123	0	248	148
経常利益	**4,230**	**3,349**	**3,611**	**4,685**	**2,695**	**5,046**	**2,758**
特別損益	54	–	▲52	131	▲41	▲41	–
当期純利益	**3,520**	**2,645**	**3,078**	**4,225**	**1,946**	**3,765**	**2,070**

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 業務別営業収益の推移

JSF

単位：百万円

	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期 2Q累計	19年3月期	20年3月期 2Q累計
証券金融業	**16,363**	**17,162**	**17,776**	**19,407**	**22,487**	**10,247**	**20,969**	**12,219**
貸借取引業務	**9,240**	**9,667**	**10,579**	**10,721**	**13,253**	**4,707**	**9,661**	**6,280**
	(47.2%)	(47.6%)	(48.0%)	(46.5%)	(50.3%)	(39.1%)	(39.7%)	(43.6%)
貸付金利息	4,012	3,111	2,720	1,694	2,225	1,031	1,799	653
借入有価証券代り金利息	436	611	575	887	1,073	331	708	599
有価証券貸付料	4,132	5,389	6,840	7,771	9,481	3,175	6,819	4,889
品貸料（逆日歩）	3,371	4,443	5,874	6,543	7,949	2,624	5,717	4,172
貸株料	761	945	966	1,227	1,531	551	1,101	717
貸借取引以外の業務								
資金の貸付（一般貸付）	**1,959**	**2,107**	**1,753**	**907**	**917**	**659**	**1,242**	**575**
	(10.0%)	(10.4%)	(7.9%)	(3.9%)	(3.5%)	(5.5%)	(5.1%)	(4.0%)
有価証券の貸付	**2,217**	**2,294**	**2,241**	**4,453**	**5,035**	**3,281**	**6,480**	**3,173**
	(11.3%)	(11.3%)	(10.2%)	(19.3%)	(19.1%)	(27.2%)	(26.7%)	(22.0%)
株式（一般貸株）	425	784	907	941	1,458	907	1,517	454
債券（債券貸借）	1,791	1,509	1,334	3,512	3,576	2,374	4,962	2,718
その他	**2,946**	**3,094**	**3,201**	**3,325**	**3,281**	**1,598**	**3,586**	**2,189**
	(15.1%)	(15.2%)	(14.5%)	(14.4%)	(12.5%)	(13.2%)	(14.8%)	(15.2%)
国債等運用収益（単体）	2,838	2,979	3,111	3,305	3,263	1,588	3,530	2,176
信託銀行業	**2,322**	**2,269**	**3,451**	**2,792**	**2,971**	**1,364**	**2,467**	**1,724**
	(11.9%)	(11.2%)	(15.7%)	(12.1%)	(11.3%)	(11.3%)	(10.1%)	(12.0%)
貸付金利息	317	186	144	147	89	33	58	21
信託報酬	485	545	627	668	741	371	746	383
国債等運用収益	1,494	1,507	2,645	1,899	2,087	923	1,590	1,292
不動産賃貸業	**880**	**868**	**807**	**865**	**873**	**441**	**884**	**450**
	(4.5%)	(4.3%)	(3.7%)	(3.8%)	(3.3%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.1%)
営業収益合計	**19,566**	**20,300**	**22,035**	**23,066**	**26,333**	**12,052**	**24,321**	**14,393**
営業収益(除く品貸料)	**16,195**	**15,856**	**16,160**	**16,522**	**18,383**	**9,428**	**18,603**	**10,221**

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

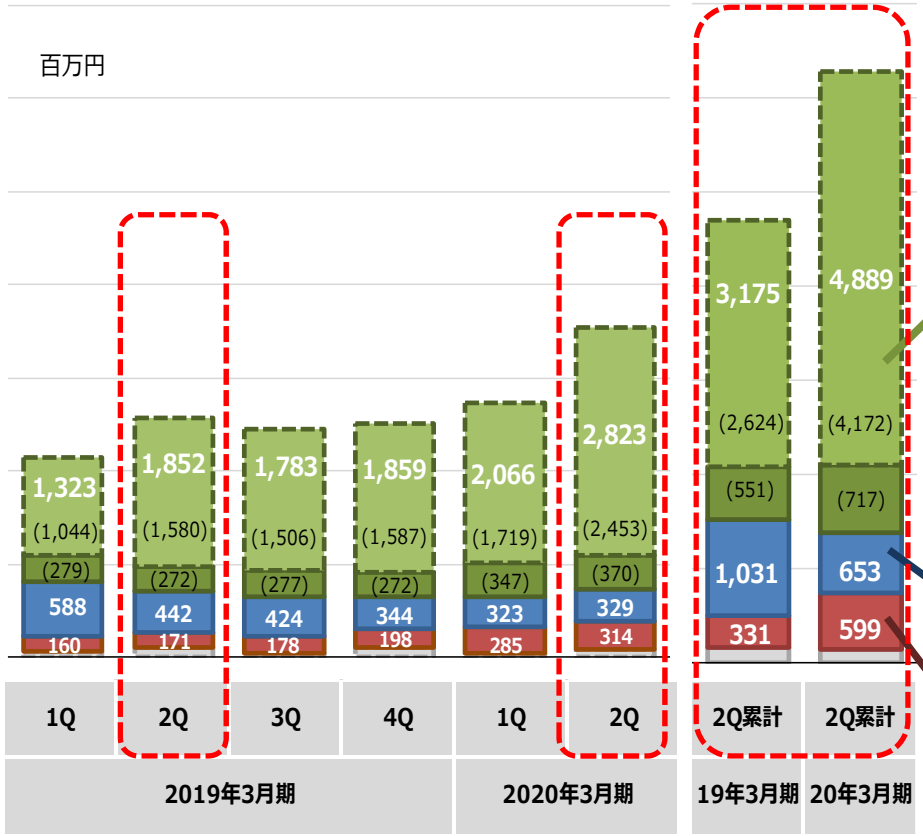
● 業務別営業収益の状況（四半期推移、２Q累計）

JSF

＜貸借取引業務＞

□ 融資残高の減少による減収分を貸株残高の増収分でカバー

【営業収益の推移】



（単位：百万円）	2Q 営業収益 （前年同期比）	2Q累計 営業収益 （前年比）	2Q累計 ポイント
貸借取引業務全体	3,552 （+38.4%）	6,280 （+33.4%）	
（除く品貸料）	1,098 （+11.3%）	2,107 （+1.1%）	✓ 当業務の営業収益は、品貸料を除いたベースでも小幅な増収
有価証券貸付料	2,823 （+52.4%）	4,889 （+54.0%）	✓ 貸株残高が前年を上回ったほか、貸株超過銘柄にかかる品貸料が増加した結果、有価証券貸付料が大幅な増加
うち品貸料	2,453 （+55.2%）	4,172 （+59.0%）	
うち貸株料	370 （+36.0%）	717 （+30.1%）	
貸付金利息	329 （△25.6%）	653 （△36.6%）	✓ 低調な融資残高の影響により、貸付金利息は大きく減少
借入有価証券代り金利息	314 （+83.7%）	599 （+80.7%）	

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

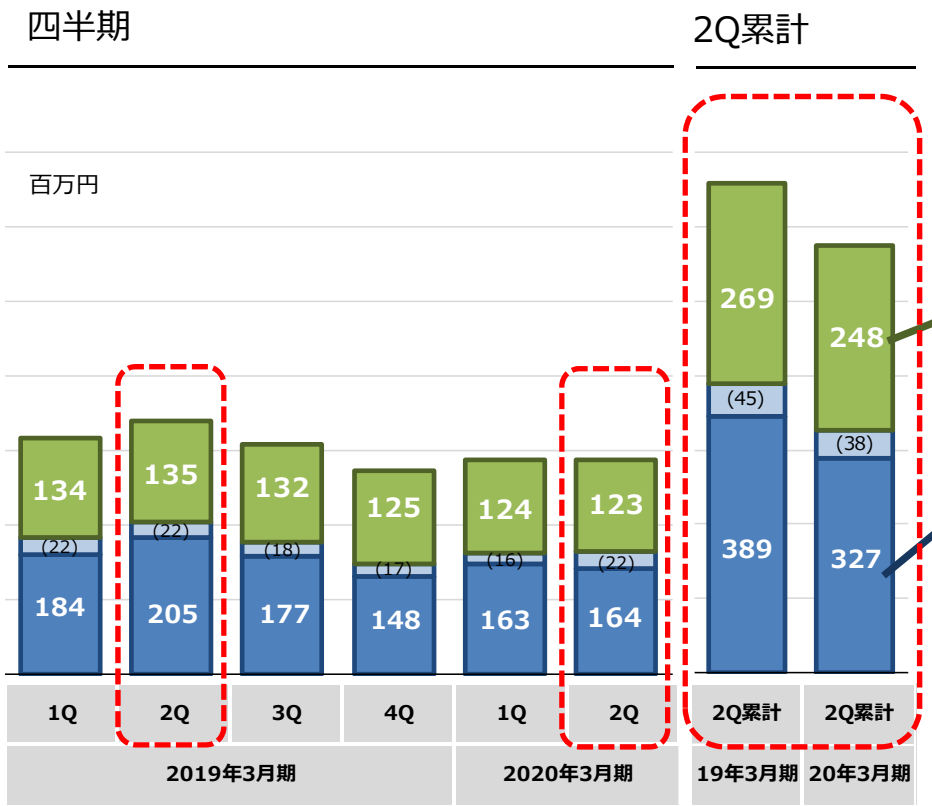
● 業務別営業収益の状況（四半期推移、２Q累計）

JSF

＜一般貸付業務＞

□ 個人･一般事業法人向けおよび金融商品取引業者向けの貸付残高がいずれも減少

【営業収益の推移】



（単位：百万円）	2Q 営業収益 （前年同期比）	2Q累計 営業収益 （前年比）	2Q累計 ポイント
個人･一般事業法人向け	123 （△8.6%）	248 （△7.9%）	株券レポ取引の利用は増加したものの、個人・一般事業法人向けおよび金融商品取引業者向けの貸付残高がいずれも減少。
金融商品取引業者向け	164 （△19.9%）	327 （△15.9%）	
うち 一般信用ファイナンス	22 （△1.1%）	38 （△14.7%）	

＜ 当業務の商品構成 ＞

- ◆ 金融商品取引業者向け ・・・ 一般貸付、公社債流通金融、一般信用ファイナンス、安定資金貸付、株券レポ取引（現金担保付株券等貸借取引）
- ◆ 個人･一般事業法人向け ・・・ コムストックローン

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

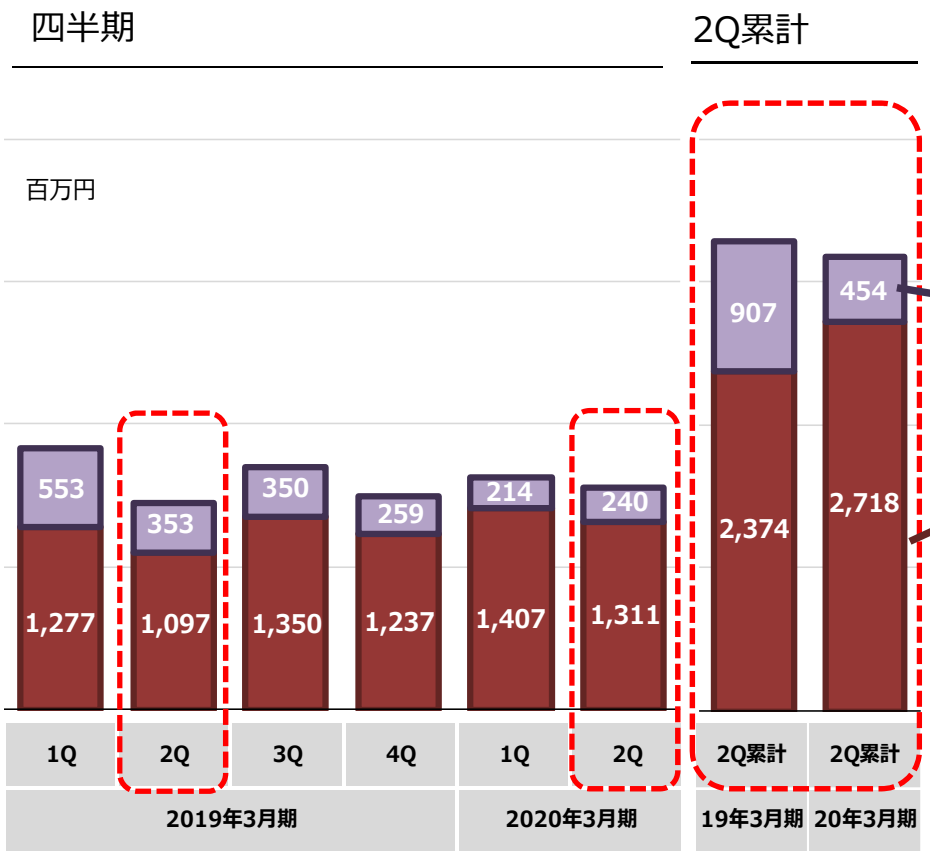
● 業務別営業収益の状況（四半期推移、２Ｑ累計）

JSF

＜有価証券貸付業務＞

□ 債券営業部門は現先取引の残高伸長が寄与して増収となったものの、一般貸株部門の減収分をカバーするには至らず

【営業収益の推移】



（単位：百万円）	2Q 営業収益（前年同期比）	2Q累計 営業収益（前年比）	2Q累計 ポイント
一般貸株	240（△32.0%）	454（△49.9%）	在庫確保などを目的とした株券借入需要が低調となり減収
債券貸借取引	1,311（+19.5%）	2,718（+14.5%）	現先取引の残高伸長が寄与して増収

※一般貸株業務とは

- 信用取引以外の借株ニーズ（売買決済のフェイル回避など）に対応した貸株
- 貸出先は金融商品取引業者
- 借入先は生損保等の機関投資家、他

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

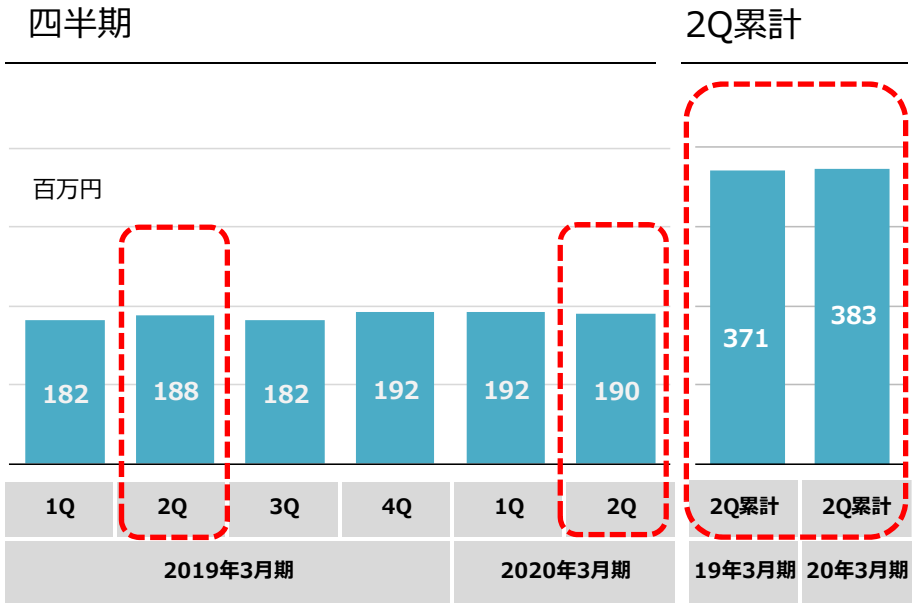
● 業務別営業収益の状況（四半期推移、２Q累計）

JSF

＜日証金信託銀行＞

□ 信託報酬は半期ベースで過去最高を更新するなど底堅く推移

【信託報酬の推移】



（単位：百万円）	2Q 営業収益（前年同期比）	2Q累計 営業収益（前年比）	2Q累計 ポイント
信託報酬	190（+1.1%）	383（+3.3%）	管理型信託サービス（顧客分別金信託、アセット・バック・ローン信託など）の強化が寄与して過去最高を更新

【主な信託商品】

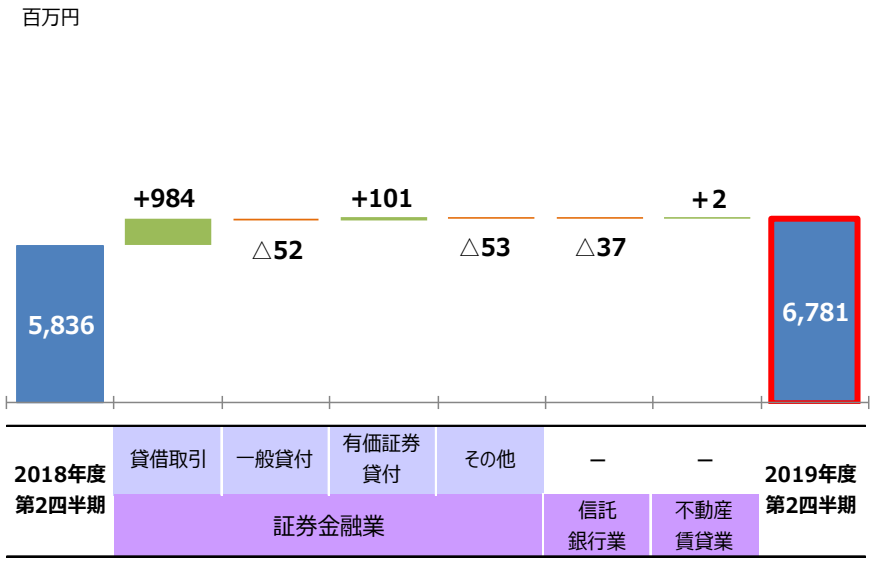
顧客分別金信託	証券会社が顧客からの預り金を保全するための信託
外為証拠金信託	FX業者が顧客から受け入れた証拠金を保全するための信託
アセットバックローン信託	金融機関向けの投資商品（アセットバックローン）を組成するに当たって、SPCに類似した機能を提供する信託

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

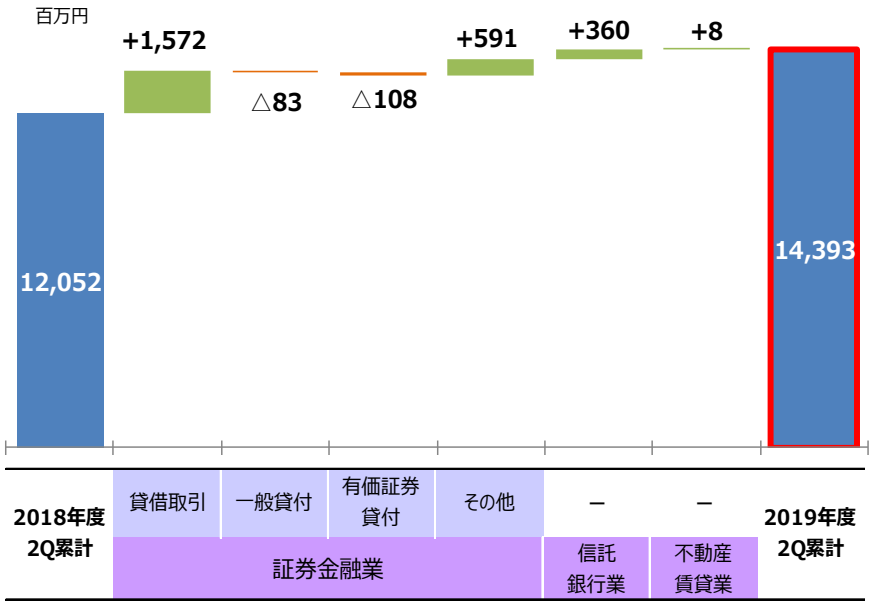
● 業務別営業収益の対前年比増減分析（四半期、2Q累計）

JSF

【7-9月期】 前年同期比　＋945百万円（＋16.2%）



【2Q累計】 前期比　＋2,341百万円（ ＋19.4%）



～ 7-9月期のポイント･サマリー ～

- 貸借取引業務は、貸株残高の増加に伴い増収
- 一般貸付業務は、貸付残高の減少に伴い減収
- 有価証券貸付業務では、債券営業部門の増収分が、一般貸株部門の減収分を上回った
- 信託銀行業務は、有価証券売却益が減少

～ 上半期のポイント･サマリー ～

- 貸借取引業務は、貸株残高の増加に伴い増収
- 有価証券貸付業務は、一般貸株部門の減収分を債券営業部門の増収分でカバーできず
- その他は投資信託からの運用収益等が増加
- 信託銀行業務は、有価証券売却益の増加が寄与

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 貸付金の状況

JSF

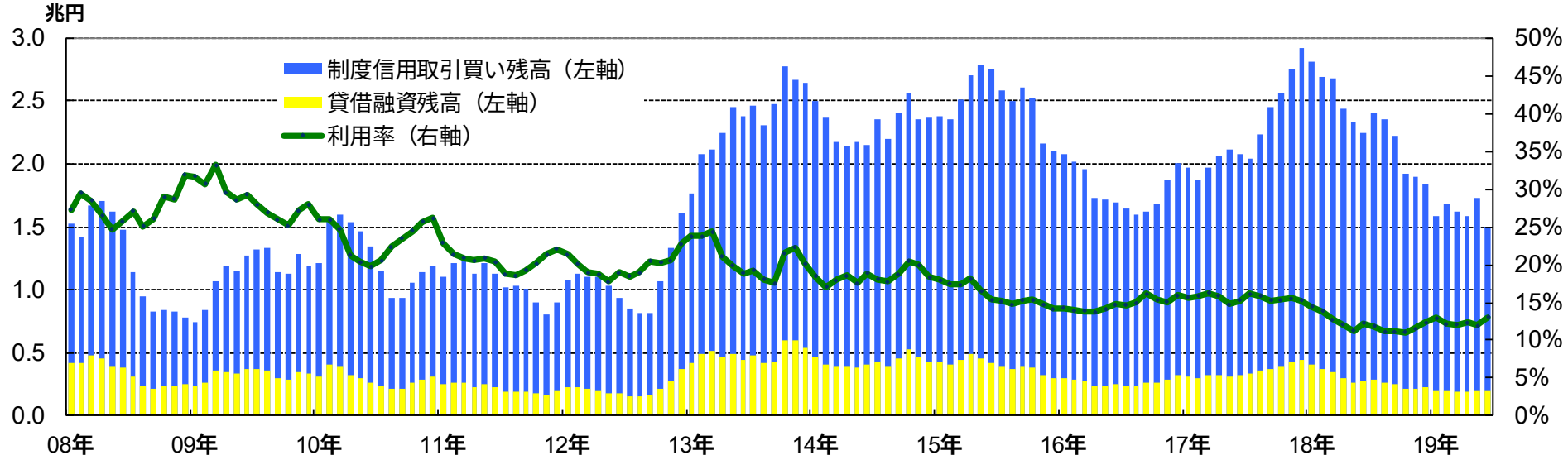
単位：百万円

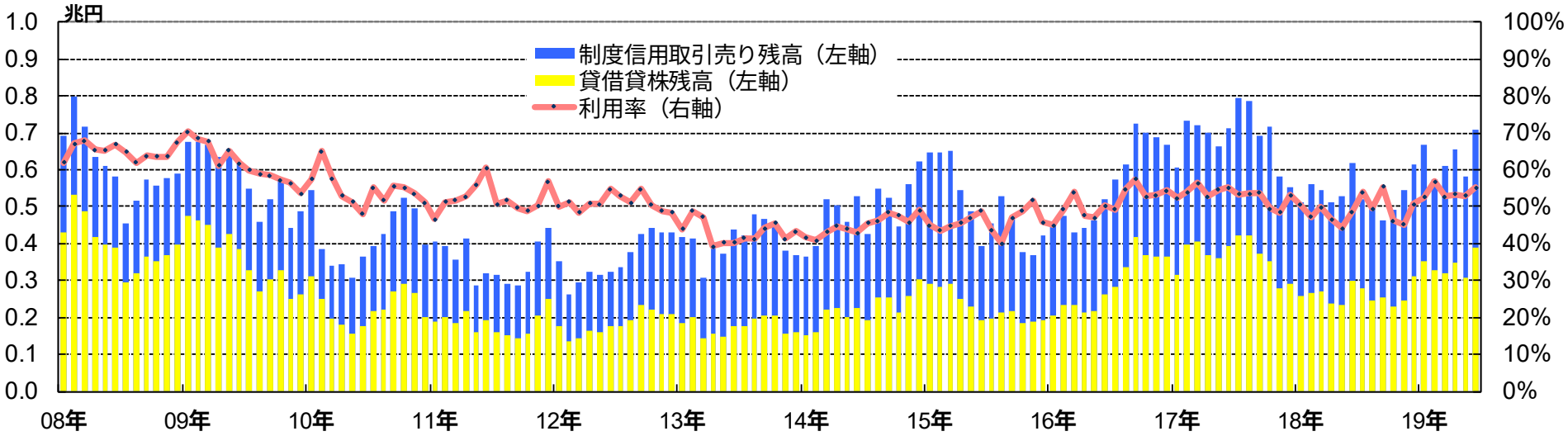
		2015年3月期 通期	2016年3月期 通期	2017年3月期 通期	2018年3月期 通期	2019年3月期 2Q累計	2019年3月期 通期	2020年3月期 2Q累計
貸借取引貸付金	平均残高	428,329	401,400	265,458	350,175	326,076	284,225	202,338
	期末残高	541,052	324,113	368,508	519,590	305,360	249,304	220,060
貸借取引以外の資金の貸付	平均残高	223,484	162,347	44,840	46,331	94,091	81,133	88,963
	期末残高	254,717	95,046	40,872	58,142	76,471	54,687	50,951
信託銀行貸付金	平均残高	58,677	54,561	149,956	273,561	413,546	431,292	496,933
	期末残高	54,831	136,089	176,371	425,197	500,157	364,903	501,667
その他	平均残高	32,500	28,718	7,008	152	－	－	－
	期末残高	32,500	12,500	2,000	－	－	－	－
合　計	平均残高	742,991	647,027	467,262	670,220	833,714	796,651	788,235
	期末残高	883,101	567,748	587,752	1,002,931	881,989	668,894	772,680

貸借取引貸付有価証券	平均残高	222,031	227,422	291,392	366,147	261,650	261,603	341,623
	期末残高	316,544	258,656	393,698	369,852	415,901	433,072	522,566

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

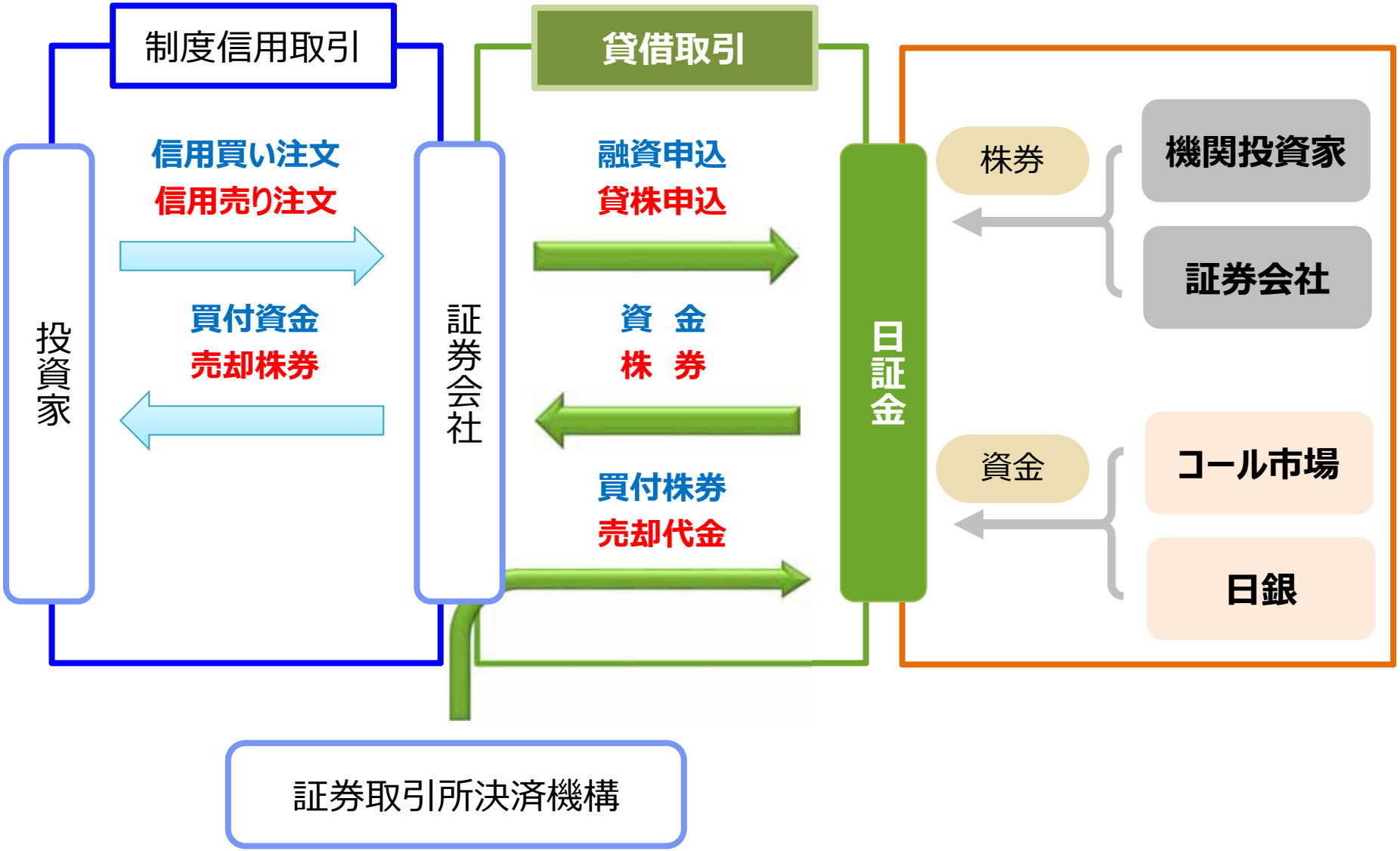
● 制度信用取引残高・貸借取引残高





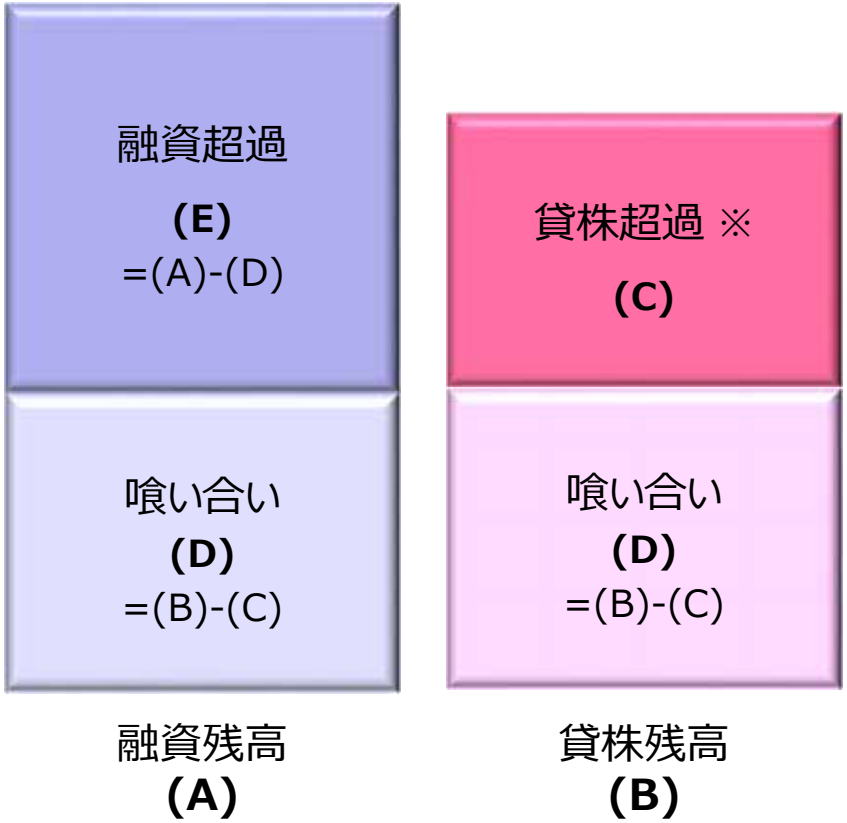
Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 信用取引・貸借取引の仕組み



Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 貸借取引の収益構造



損益計算書

【営業収益】

貸付金利息＝(A)×0.60%

有価証券貸付料（貸株料）＝(B)×0.40%

借入有価証券代り金利息＝(C)×0.60%

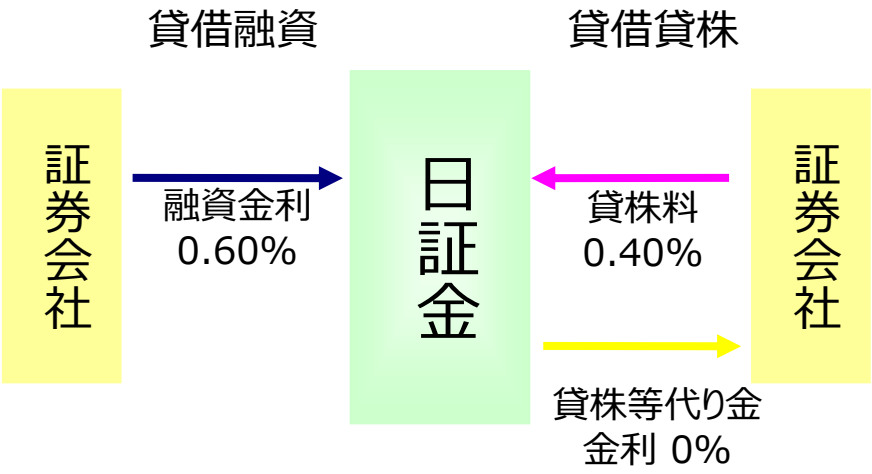
【営業費用】

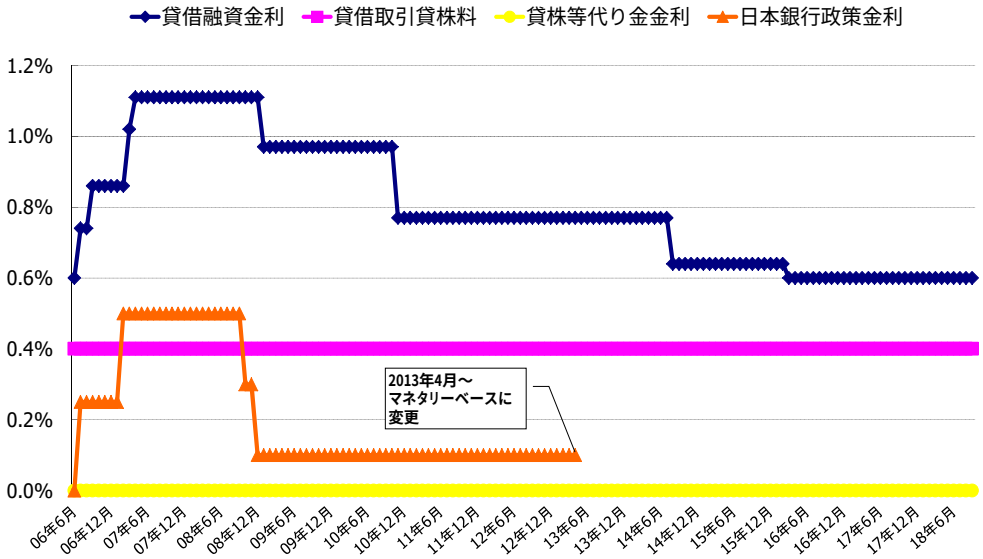
支払利息＝(E)×調達金利

※　貸株超過銘柄の一部に品貸料（逆日歩）が営業収益（有価証券貸付料）として発生するが、
同額が営業費用（有価証券借入料）として計上されるため、当社の利益には影響しない。
【営業収益】有価証券貸付料(品貸料) ＝【営業費用】有価証券借入料(品借料) ＝(C)'×品貸料率

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 貸借金利について





日本銀行の金融政策

- 2006年7月 無担保ｺｰﾙﾚｰﾄO/N：**0.25%**
- 2007年2月 無担保ｺｰﾙﾚｰﾄO/N：**0.50%**
- 2008年10月無担保ｺｰﾙﾚｰﾄO/N：**0.30%（▲0.20%）**
- 2008年12月無担保ｺｰﾙﾚｰﾄO/N：**0.10%（▲0.20%）**
- 2010年10月無担保ｺｰﾙﾚｰﾄO/N：**0～0.10%（▲0.10～0%）**
- 2013年4月 従来の金利からマネタリーベースに変更
- 2016年1月 マイナス金利付き量的・質的金融緩和を導入
- 2016年9月 長短金利操作付き量的・質的金融緩和を導入

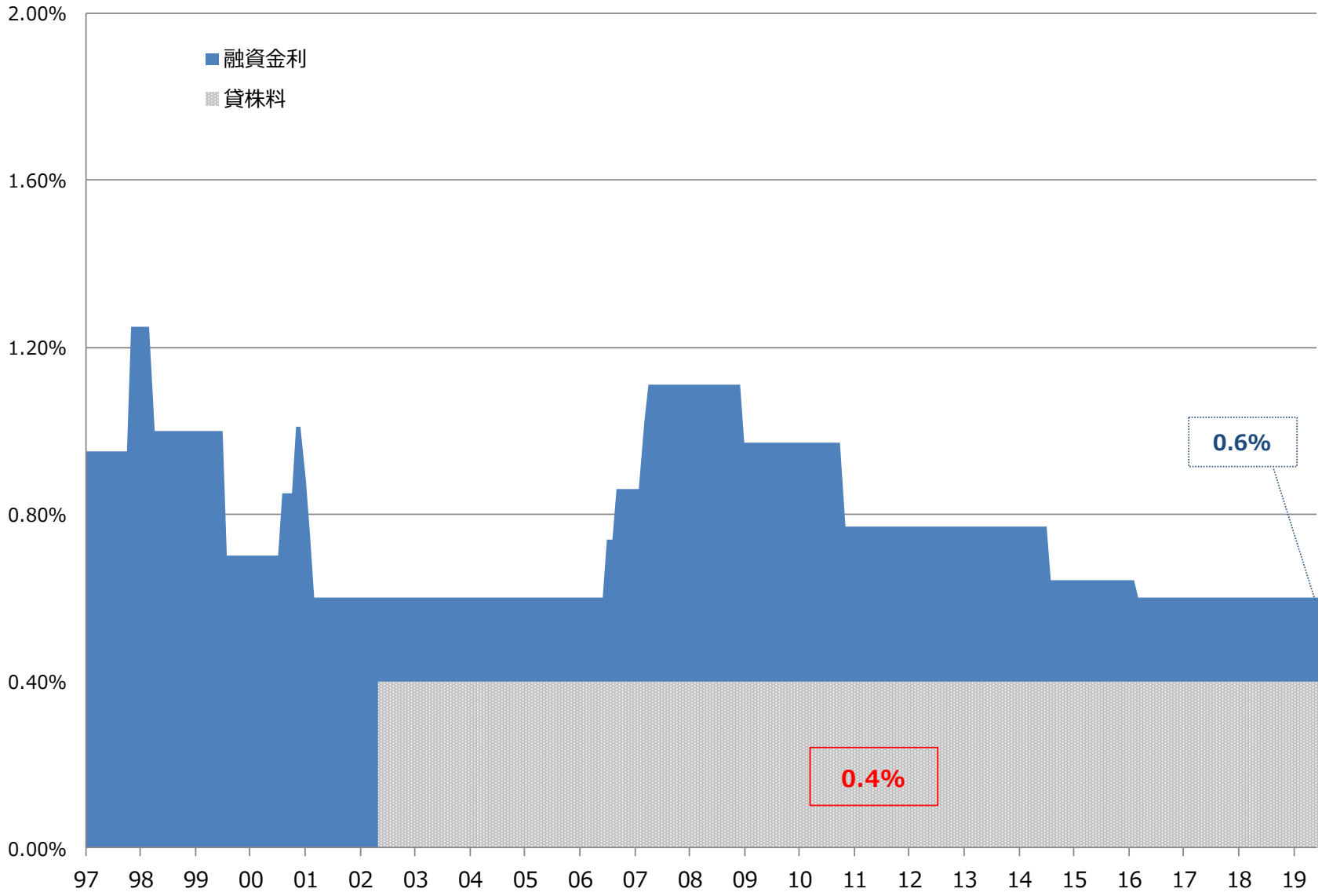
貸借取引融資金利の変更

- 2006年 7月27日約定 **0.74%（+0.14%）**
- 2006年 9月22日約定 **0.86%（+0.12%）**
- 2007年 3月15日約定 **1.02%（+0.16%）**
- 2007年 4月 5日約定 **1.11%（+0.09%）**
- 2009年 1月29日約定 **0.97%（▲0.14%）**
- 2010年11月22日約定 **0.77%（▲0.20%）**
- 2014年 8月 6日約定 **0.64%（▲0.13%）**
- 2016年 3月 9日約定 **0.60%（▲0.04%）**

◆貸借取引金利は、市場金利および日本銀行による金融政策の変更を適切に反映して設定する。

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 貸借取引の金利の推移



Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 有価証券の状況

JSF

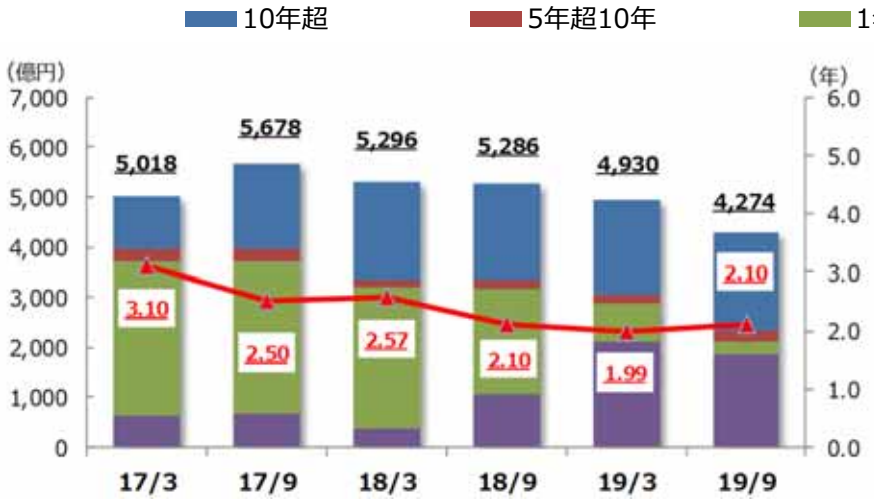
単位：百万円

その他有価証券	19年3月末 BS計上額	19年3月末 評価損益	19年9月末 BS計上額	19年9月末 評価損益	備考
株式	**13,323**	**8,118**	**11,775**	**6,691**	
債券	**694,835**	**32,715**	**838,979**	**37,145**	
国債・地方債	623,009	33,538	567,742	38,320	
社債	41,424	31	236,655	304	政府保証債等
その他	30,402	▲854	34,581	▲1,479	外国国債
その他	**10,926**	**1,137**	**14,094**	**1,396**	
合計	**719,085**	**41,970**	**864,848**	**45,233**	
（含むデリバティブ）	**－**	**(25,714)**	**－**	**(23,532)**	

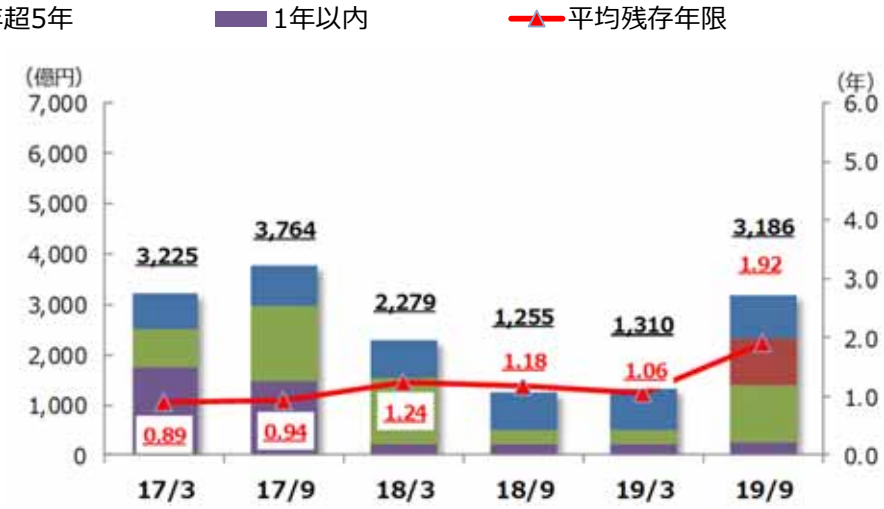
満期保有目的	BS計上額	評価損益	BS計上額	評価損益	備考
国債	**1,513**	**244**	**1,513**	**272**	

(注)評価損益は、デリバティブによるヘッジ効果を除いたベースです。

円債の残存期間別残高（日証金）



円債の残存期間別残高（日証金信託）



(注) 平均残存期間は、変動利付国債、満期保有目的、ヘッジ会計適用分を除いて計算しております。

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 日証金信託銀行（貸出金）

JSF

●貸出金の業種別残高

単位：百万円

	18年9月末		19年3月末		19年9月末	
	貸出金残高	割合	貸出金残高	割合	貸出金残高	割合
製造業	4,800	1.0%	2,000	0.5%	2,000	0.4%
漁業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
建設業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気･ガス等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
情報通信業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
運輸業	1,769	0.4%	1,069	0.3%	689	0.1%
卸売業	800	0.2%	800	0.2%	800	0.2%
小売業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金融･保険業	0	0.0%	200	0.1%	0	0.0%
不動産業	500	0.1%	-	0.0%	3,000	0.6%
サービス業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中央政府（政府保証を含む）	492,287	98.4%	360,834	98.9%	495,178	98.7%
合　計	500,157		364,903		501,667	

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）①

JSF

企業理念

■証券金融の専門機関として、常に公共的役割を強く認識
■証券界・金融界の多様なニーズに積極的に応える
■証券市場の参加者・利用者の長期的な利益向上を図る
■証券市場の発展に貢献することを使命とする

経営方針

■揺るぎない社会的信頼の確立
■強固な自己資本の維持と株主への利益還元の充実
■堅固な収益基盤の拡大
■組織・業務運営の効率化

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）②

JSF

2020年

当社の存立基盤をより強固なものとし、市場や投資家の信頼に応える

第5次中期経営計画（2017年度~2019年度）策定に当たっての考え方

■ 現下の超低金利が継続する可能性に留意しつつ、これまで培ってきた資金・有価証券関連業務の運営能力と高い信用力、市場における中立性を活かして、既存ビジネスの強化に取り組むとともに内外の新たな取引ニーズを積極的に取り込む

第4次中期経営計画（2014年度~2016年度）における取り組み

■ 大証金との合併後の3年間において、業務および組織・システムの一体化に取り組み、効率的で活力のある体制づくりを推進

新たな金融取引のニーズ

事業環境の変化

- 商品やサービスに人工知能（AI）を活用する技術の向上とともに金融のグローバル化と高度化が加速
- 金融市場の安定化に向けた国際金融規制や有価証券決済制度の見直し

戦略

- 証券市場のインフラとしての貸借取引業務の強化
- 内外の金融商品取引業者等への柔軟な対応
- 新規業務の開発
- 資金の効率的活用としての有価証券運用の多様化
- グループ連携の強化
- 業務運営管理体制の強化
- 働きやすい職場環境の整備と企業活力の向上

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 第5次中期経営計画（2017年度～2019年度）③

JSF

事業環境

- 商品やサービスに人工知能（AI）を活用する技術の向上とともに金融のグローバル化と高速化が加速
- 金融市場の安定化に向けた国際金融規制や有価証券決済制度の見直しが進展

～ 戦略 ～

証券市場のインフラとしての貸借取引業務の強化	■ 貸借銘柄の拡充及び調達力強化 ■ 貸借取引の制度運営の充実 ■ 信用・貸借取引制度の普及 ■ 一般信用ファイナンスの利用促進
内外の金融商品取引業者への柔軟な対応	■ 金融商品取引業者向貸付の拡大 ■ 有価証券貸付の拡充 ■ 顧客貸付の伸長
新規業務の開発	■ 国内外における新規業務の開発 ■ 当社資源の有効活用
資金の効率的活用としての有価証券運用の多様化	■ 安定的な期間収益の確保 ■ 外貨調達手段の整備
グループ連携の強化	■ 営業面およびシステム面での連携強化 ■ 収益管理の強化
業務運営管理体制の強化	■ コンプライアンスが経営の前提との位置づけを再確認 ■ 内部監査の実効性確保 ■ 災害発生時の業務継続体制の強化 ■ コーポレートガバナンスの充実
働きやすい職場環境の整備と企業活力の向上	■ 働きやすさ改革等により生産性を高め、企業活力を向上させる

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 日証金信託銀行の経営方針

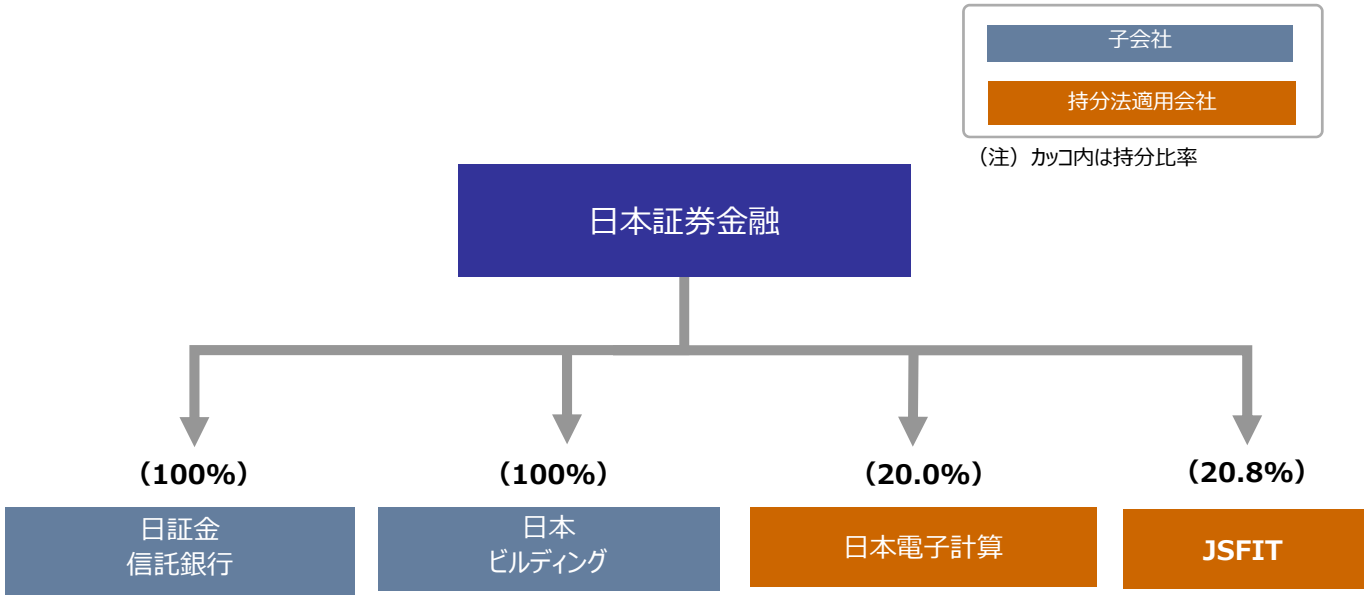
JSF

【経営方針】
証券会社等の業務インフラを支える信託銀行として、
大手他行の行わないきめ細やかな顧客ニーズに応じたサービスを提供し、
以下の業務を中心としたビジネスモデルの確立を目指す。

- 証券業界向けの商品・サービス提供を中心に信託業務に注力し、その拡充を図る
- 証券会社向け貸し出しをはじめとした商品・サービスを取扱い、経営体力に見合った適切な銀行機能を発揮する。
- 有価証券運用については収益補完目的として行う
- 親会社と連携した金融サービスを提供

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 連結会社の状況



持株比率	会社名	資本金	業務内容
100%	日証金信託銀行(株)	14,000百万円	信託業務、銀行業務
100%	日本ビルディング(株)	100百万円	当社グループ所有の不動産の賃貸・管理
20.0%	日本電子計算(株)	2,460百万円	情報処理サービス、ソフトウェアの開発・販売
20.8%	ジェイエスフィット(株)	100百万円	情報処理サービス、ソフトウェアの開発・販売

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

● 外部格付けの状況

JSF

2019年10月31日時点		JCR（日本格付研究所）		R&I（格付投資情報ｾﾝﾀｰ）		Standard & Poor's	
		Rating	Outlook	Rating	Outlook	Rating	Outlook
日本証券金融	長期格付	AA-	安定的	AA-	安定的	A	安定的
	短期格付	J-1+（最上級）		a-1+（最上級）		A-1	
	CP発行枠	1兆円		1兆円		—	
日証金信託銀行	長期格付	A+	安定的	A+	安定的	—	—
	短期格付	J-1+（最上級）		a-1		—	—

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved

＜注意事項＞

JSF

本資料には、業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確定要因を内包するものです。将来の業績は、株式市況・金融情勢などにより、大幅に異なる可能性があります。

Copyright Japan Securities Finance Co., LTD. All Rights Reserved